

杉並区立杉並第七小学校

校長室だより



令和4年7月16日

校長 齋藤 瑞穂

1学期も今日で終了

さあ、夏休み！今年はどうな夏になるかな？

今日で1学期が終わります。4月6日の始業式から3か月と少し。みなさんにとっては長かったかな？それとも短かったでしょうか？

この節目の日に、始業式でお話した今年度の杉七小のテーマ「みんなのしあわせ」について、あらためてみなさんに考えてほしいと思います。世界ではまだ戦争が続いている国があります。日本でも、長く総理大臣として日本のために働いた人が暴力によってとつぜん命をうばわれるという事件が起きました。このように、人の命が大事にされない世界は、「みんなのしあわせ」が守られていると言えるでしょうか。きっとみなさんは「ちがう！」と答えるでしょう。



でも、1学期のみなさんの生活を振り返ると、命こそうばいはしないけれど、だれかの体や心を傷つけたり、だれかから傷つけられたりすることはなかったでしょうか？けんかしてたたいたりたたかれたり、意地悪を言われたり言ったり、無視されたり無視したり・・・おぼえはありませんか？

学校にはたくさんの方がいて、それぞれ顔も体格も、好きなものも得意なものもちがいます。ですから、考えがちがうことはあたりまえですし、それで気持ちがすれちがうこともあるでしょう。しかし、だからといって、相手を暴力で言うなりにしようしたり、冷たい言葉で傷つけたりしてはいけません。イライラにまかせて、パンチしたり仲間はずれにしたりしてはいけません。それは、相手を大事にしないことにつながるか

らです。「みんなのしあわせ」はそこにはありません。

みなさんは子供です。けんかも、意地悪も、仲間はずれも、我慢できないことの方が多いでしょう。悪いことと分かっているにもかかわらずついでにやってしまう一小学生のみなさんには、まだ仕方ないことだとも思います。でも、そのたびに、きちんとお家の方や先生、大人に示され、相手の傷ついた気持ちに気づき、心から「ごめんなさい」と謝り、「もうしません」と反省することをくりかえして、少しずつ相手の心も体も大事にできるようにになっていかなければいけないのです。命を大事にできる人になるために、みなさんは学校で学んでいるのですよ。

さあ、夏休みです。時間割のない44日間を、みなさんはどうすごしますか？お家の方と相談しながら、学校ではできないこと、夏休みだからできることなどに、たくさん挑戦してほしいと思います。2学期には心も体も一回り大きくなったみなさんと会えることを楽しみにしています。



一、二年生は今年も盆踊りに参加していただきます。準備はばっちりです。

保護者の皆様へ

1学期が終わります。おかげさまで大きな事故・事件もなく夏休みを迎えられることにホッとしています。

今年の夏は、新型コロナウイルス感染症対策のための行動制限も緩和され、楽しいレジャーを計画されているご家庭も多いかと思います。ここにきて感染者数の急激な増加は心配ですが、子供時代の夏休みがどれだけ尊いものか、大人はみんな知っています。できるだけ子供たちにはのびのびと過ごさせたいものです。夏休みの楽しいスタートになれば、地域の方々とPTAのみなさんの熱い思いのもと、3年ぶりの「杉七盆踊り」も行われる予定です。

今年の夏はもう二度とこない夏——毎年1学期の終業式には子供たちに話しています。1年生には1年生の、6年生には6年生の、その年齢でしか得られない体験があるはず。そんな体験をして、一回り大きくなった子供たちとの再会を心待ちにしています。